

与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会
― 第一次答申（意見表明）を提出 ―

住民の皆さんと対話をしながら、 できるだけ早く施設再編に着手を

3月29日、与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会（以下、「委員会」）の川勝健志委員長、岸部敬副委員長から山添町長に対して、与謝野町公共施設等マネジメントの推進に関する第一次答申（意見表明）が提出されました。今月号では、これまでの経過と答申の内容についてお知らせします。

企画財政課 ☎43・9015



役場加悦庁舎において、山添町長に第一次答申書を手渡す川勝委員長（中央）と岸部副委員長（右）

優先順位をつけて議論

令和4年9月27日、町長から委員会に対し「与謝野町公共施設等マネジメントの推進について」の諮問を行いました。委員会では、数ある公共施設の中でも特に緊急度が高く重要と思われる役場庁舎・こども園・保育所・小学校を対象に、8回にわたり個別具体的に議論。また、その過程で複数回の現地視察も行われ、当該施設の実態把握にもできる限り努められました。

諮問文には答申時期を明記していませんでしたが、議論の対象とした

これらの公共施設の緊急性と重要性、また年度の節目を迎えたため、これまでの意見を整理し、第一次答申として意見を表明するかたちで町長に伝えられました。

― 川勝委員長 ―

すでにある計画などをできる限り尊重する方針としながら、これらがどの程度進んでいるかチェックしたところ、必ずしも計画どおりに進んでいないことが分かりました。いろいろな事情があったと理解していましたが、財政の制約の中で優先順位を付けながら少しずつでも前へ進めることが重要です。住民の皆さんに見えるかたちで伝わらなければ、町内で機運が盛り上がりだしていきません。各計画を進めるために、住民の皆さんとの対話はもちろん重要で、さらに、実現性のあるかたちで進めていくには、役場内で推進体制



第一次答申の内容を説明する川勝委員長

を整え、財政計画とリンクさせながら、財政上許される範囲でできる限り早く着手していただきたいです。この思いを委員会を代表して、町長に第一次答申というかたちで意見表明させていただきます。

― 岸部副委員長 ―

委員会には学識経験者にも入っていただき、委員の皆さんと本当に真剣な議論をしてきました。議論を重ねる中で、委員会で場所の選定などの個別具体の検討は困難と判断しました。ある程度の道筋や青写真を行政で作られ、委員会も含めて住民の皆さんへの説明や対話を十分していただきたいです。

― 山添町長 ―

委員の皆さんによる活発な議論によって整理された意見と認識しました。あるべき公共施設の姿を行政として住民の皆さんに提案しながら、対話を重ね改良していく中で、合意形成を図ることが求められていると考えます。

提出いただいた第一次答申を踏まえて、改めて計画の練り直しを早急に進めていきます。中でも、野田川地域の認定こども園については、令和4年度末までに建設する計画でしたが、遅れており就学前保育の格差となつていきますので、練り直しに入っていきたいです。

概要

第一次答申（意見表明）の概要

1. 問題の所在（計画等の遅滞と新たな課題）

- 議論の対象とした公共施設のすでにある答申、方針、計画（以下、「計画等」）については、策定当時の議論の蓄積に基づいて、熟慮の末、策定されたものと思料します。しかし、現在の進捗状況を確認したところ、緊急度が高く重要な案件であった、本来であれば実現、ないし実現に向けて進行していなければならぬにもかかわらず、一部の実現に留まっており、中には進行していない案件もあります。
- その原因は、当該計画等の推進に不可欠な住民との情報共有や対話が十分でないこと、財政計画に結び付けられていないこと、役場内に行き届く体制が整えられていないこと等が考えられます。

- すでにある計画等は、策定時からかなりの年月が経過しているために、当時とは前提が異なる点が多くあります。

- 例① 新型コロナウイルス感染症の拡大を背景とした、デジタル技術を活用した社会の変革
- 例② 民間の資金やノウハウを活用した公共施設の整備に関する事例・ノウハウの蓄積と普及

例③ 保護者の働き方の変化に伴い、未満児をこども園・保育所へ預けるケースの増加

2. 推進のための検討方針

- （1）計画等の再検討および一部見直し
- すでにある計画等を基本としたうえで、それらが定められたときは状況が変わっている事項を加味して早急に再検討し、場合によっては部分的な見直しを行うこと。
- （2）再編過程で検討すべき視点
- 推進チームを役場内に組織し、検討や実行の期限、スケジュールを明確にすること。
- 公共施設の再編に必要な予算とスケジュールを財政計画に反映し、計画的に推進すること。
- 個々の公共施設の方向性や具体的な整備案については、検討結果のみならず、その検討過程から随時、住民に情報提供や意見の聴取、複数の選択肢の提示等を行い、住民との合意形成をいねいに行うこと。

- 3. これまでの検討を踏まえた意見
こども園・保育所、学校、役場庁舎について、進捗状況と委員会としての意見を整理しています。詳細は町ホームページをご覧ください。

用語解説

諮問（しもん）

有識者や特定の機関などに意見を尋ね求めること。

答申（とうしん）

諮問機関からの行政官庁に対し、詳しく意見すること。

与謝野町公共施設等 マネジメント推進委員会

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進し、その最適化を図るため、必要な事項を調査・審議する委員会。現在、10人の委員で組織されている。



町ホームページ